

Candidatos a alcaldes que suman apoyos de UNT/Única/Alianza Democrática

 JORGE BARRAGÁN MUNICIPIO LIBERTADOR/CARACAS	 RICHARD ARTEAGA MUNICIPIO SIMÓN BOLÍVAR/BARCELONA	 YORGI ARCINIEGA MUNICIPIO BOLIVARIANO DE ANGOSTURA/BOLÍVAR
 GUSTAVO DUQUE MUNICIPIO CHACAO/MIRANDA	 MOREL DAVID RODRÍGUEZ MUNICIPIO MANEIRO/NUEVA ESPARTA	 RAFAEL HERRERA MUNICIPIO SAN FERNANDO DE APURE
 DARWIN GONZÁLEZ MUNICIPIO BARUTA/MIRANDA	 ARMANDO AMENGUAL MUNICIPIO VALENCIA/CARABOBO	
 HENRI FALCÓN MUNICIPIO IRIBARREN/BARQUISIMETO	 ADRIAN ROMERO MUNICIPIO MARACAIBO/ZULIA	

EFFECTO COCUYO

(写真) EFFECTO COCUYO “野党グループが連名で推薦する市長選の候補者”

2025年6月27日(金曜)

政治

- 「[国連人権高等弁務官 ベネズエラ人権問題を報告～マドゥロ政権 Türk 弁務官の偏光姿勢を批判～](#)」
- 「[マドゥロ政権 豪雨災害深刻な46都市を支援](#)」
- 「[米国 麻薬密輸でカルバハル議員に有罪判決](#)」

経済

- 「[PDVSA 25年1～5月の収入は61億ドル](#)」
- 「[Conindustria 代表 Tito Lopez 氏に決定](#)」
- 「[Chevron Venezuela 元社長 Chevron 役員就任](#)」

社会

- 「[被災地農家 農産品を運べず地元で配る](#)」

25年6月28-29日(土・日)

政治

- 「[ガイアナ GOLD 密輸の取り締まりを強化～マドゥロ政権 密輸の元締めはガイアナ～](#)」
- 「[7月市長選 野党が連名で支持する候補者](#)」
- 「[豪雨続く アプレ州でも河川が氾濫](#)」

経済

- 「[中央銀行 両替市場に18.2億ドルを供給](#)」
- 「[24年Q3 農業セクターGDP6.26%増](#)」
- 「[コーヒー 政府による規制で農家の収入少ない](#)」
- 「[加コスメブランド MAC ベネズエラ販売再開](#)」
- 「[保健省 Colgate 歯磨きペースト使用禁止に](#)」

2025年6月27日（金曜）

政治

**「国連人権高等弁務官 ベネズエラ人権問題を報告
～マドゥロ政権 Türk 弁務官の偏光姿勢を批判～」**

6月27日 タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、国連高等弁務官事務所のVolker Türk 弁務官による国連人権委員会でのベネズエラの状況に関する報告を強く非難した。

「(Volker Türk 弁務官による報告は)極めて偏った見解をしている」「国家の平和を脅かす危険なグループを取り締まり、基本的な人権を擁護している組織の進歩的な行動を無視している」と訴えた。

また、サアブ検事総長は、「国連高等弁務官事務所がベネズエラを混乱に引き込もうとしている国内外のテロリストのスポークスマンになっている」と指摘。

「国連高等弁務官事務所は、自身が罪を犯したことを証言した人物まで被害者として擁護している」

「国連高等弁務官事務所の本来の使命を果たすどころか、犯罪加害者たちのグループに加わっている」

「彼らはベネズエラの司法に準じた形で、適切なプロセスを経て、国家への裏切り、計略、テロ行為、マネーロンダリングの罪で合法的に拘束されている」

との見解を示した。

加えて、サアブ検事総長は、エルサルバドルの収容所「Cecot」に収容されているベネズエラ不法移民252名についても言及。

「Türk 弁務官は、卑怯にも国連人権委員会の報告の場にて、エルサルバドルで収容されているベネズエラ人252名について沈黙した」と訴えた。

「彼らは拘束され、まともな手続きを経ることなく、最低限の保証がされることもなく収容させられた」

「米国の人権侵害に沈黙をする彼ら(国連高等弁務官事務所)のダブルスタンダードを象徴しており、我が国の同胞の命を軽視していることを示している」

また、国連人権委員会についても「国連人権委員会は、国家の主権を侵害し、政治的な理由で迫害を行う組織になっている」と指摘。「国会において、ベネズエラが国連人権委員会から脱退するべきかどうか議論を開始する」との方針を示した。

更に翌28日にサアブ検事総長は改めて本件についてコメントを発表。「Volker Türk 弁務官は辞任を表明するべき」との見解を示した。

問題となっている Türk 弁務官の報告は口頭によるもので、報告内容の詳細はあまり確認できていない。

ただし、報道によると、Türk 弁務官は

「ベネズエラにおいて拷問や虐待の疑惑は絶えない」「恣意的な拘束、適正な手続きを経ていない拘束が行われている」

「2024年5月から少なくとも32人が拘束中に拷問や虐待を受けた」「うち未成年者は15人、外国人は12人、28人は強制的に拘束された」

「2025年5月に行われた国会議員選・全国州知事・州議会議員選に関連して野党関係者や人権活動家、外国人など70人がテロリストグループに所属しているとの理由で拘束された」と説明。

「ベネズエラ司法当局は、国際的な基準や規則に沿っていない」との見解を示したという。

ただし、経済制裁がベネズエラ国民の生活(特に経済的弱者)に悪影響を与えている点も指摘しており、制裁の見直しも求めている。

「マドゥロ政権 豪雨災害深刻な46都市を支援」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1235](#)」でも紹介した通り、メリダ州、バリナス州、ポルトゥゲサ州、トゥルヒージョ州、タチラ州などで豪雨が発生し、河川が氾濫したことで、道路・橋・家屋が崩壊するなど深刻な影響が出ている。

マドゥロ政権はこの状況に対応するため、国軍・警察などを派遣し、被災者支援を行っている。

6月27日時点の発表では、マドゥロ政権は被害の特に大きかった5州46都市で支援活動を行っているという。

被害状況としては、メリダ州の Arnaldo Sánchez 知事によると、メリダ州では特に12の都市の被害が深刻だという。メリダ州では370の家屋が完全倒壊あるいは部分倒壊あるいは倒壊の高いリスクにさらされているという。

また、25の橋が完全あるいは部分的に崩落。橋がなくなったことで対岸への移動手段を失い8456世帯が孤立しているという。

ポルトゥゲサ州の Primitivo Cedeño 知事によると、8つの都市で豪雨被害が確認されており、1300人超が影響を受けたという。

また、同州では主要道路である José Antonio Páez 高速道路が破壊されており、現在補修工事を始めているが、完全復旧には60日ほどかかるとしている。

他、6000ヘクタールの農地が豪雨の影響で被害を受けた。

トゥルヒージョ州の Gerardo Márquez 知事によると、特に被害が大きかったのは6都市。92の家屋が倒壊したという。

タチラ州の Freddy Bernal 知事は、2つの道路が崩落した影響で870世帯が孤立していると説明。早急な復旧作業が必要との見解を示した。

他、雨で地盤が崩れたことで85の家屋が倒壊。Fernández Feo 市、Cárdenas 市、San Cristóbal 市、Junín 市などを筆頭に12都市で、240の家屋が倒壊リスクにさらされているという。

「米国 麻薬密輸でカルバハル議員に有罪判決」

米国司法省は、ベネズエラ人ウゴ・カルバハル氏（写真の人物）が有罪判決を受けたと発表した。

カルバハル氏は、故チャベス政権下で軍部の警察部隊 DGCIM トップなど政府要人を務めた人物。

2019年にマドゥロ政権を離反し、スペインに逃亡。しかし、カルバハル氏は麻薬密売を理由に米国で起訴されており、スペインで逮捕された。

その後、米国への引き渡しが決まったがカルバハル氏は逃亡。



（写真） Bancaynegocios

しかし、21年9月にスペインで再逮捕され、2年近くが経過し、カルバハル氏の身柄は米国に引き渡され、米国で裁判が行われている。

具体的な判決内容はまだ決まっていようだが、最も重い刑の場合は終身刑を受けるという。

ただし、カルバハル氏は、マドゥロ政権の内部情報を提供することと引き換えに刑を軽くするよう交渉していると報じられており、罪が減刑される可能性がある。

経 済

「PDVSA 25年1～5月の収入は61億ドル」

エネルギー専門メディア「Petroguia」は、2025年1月～5月までのPDVSAの収入が前年同期比2%増の61.4億ドルになったと報じた。

2025年1月～5月までのベネズエラの代表油種であるMerey原油の平均取引価格は60.2ドル/バレルで前年よりも下落したが、輸出量が前年よりも19%増加し、原油価格の下落を補ったとしている。

2025年1月～5月の平均原油・石油製品輸出力は日量81.6万バレル。

2024年、23年同期の平均原油・石油製品輸出力は、日量70万バレル以下だった。

「Conindustria 代表 Tito Lopez 氏に決定」

6月27日 ベネズエラの製造業企業を中心に構成される経済団体「ベネズエラ工業連合（Conindustria）」の総会が開催され、2025年～27年の同組織の役員が決定した。

新たに代表に選ばれたのはTito López氏（下写真左側の男性）。

López氏は「ベネズエラ医薬品製造業（CIFAR）」の代表でもある。

医薬品製造業はベネズエラ国内で最も好調な業種の1つ。López新代表は、マドゥロ政権との関係も良好で、マドゥロ政権との協力関係を維持する組織の方針が垣間見える。

López新代表は、就任演説において「Luigi Pisella氏が築いてきた道を引き続き歩む」と発言。マドゥロ政権との対話路線を選んでいるPisella前代表（下写真右側の男性）の方針を続ける意向を示した。

また、経済政策に関する働きかけについて「マドゥロ政権に対して税制の変更を求める」と言及。

現在15日毎に支払っている付加価値税（IVA）を30日毎に変えることを求める方針を示した。

他、「大規模金融取引税（IGTF）の見直し」や「融資を増やすための金融政策」「輸出手続きの簡素化」などをマドゥロ政権に求める考えを示した。



（写真）Conindustria

他、第1副代表は、Conindustria ララ州支部の Mahomed Hussein 代表。

第2副代表は「ベネズエラ・ビール製造者商工会 (Caveface)」の Jeanine Parra 代表。

第3副代表は、Conindustria カラボゴ州支部の Oswaldo Umanes 代表が務めることになった。

La Rosa 氏は、BAEC (クウェート、サウジアラビア、ベネズエラ、バングラディッシュ、タイ、エジプト、キプロス、インドネシアなど新興国の重要資産) の総括に就任するという。



(写真) Bitacora Economica



(写真) Petroguia

社会

「被災地農家 農産品を運べず地元で配る」

メリダ州ミランダ市農業連合の Andrés Eloy Ramírez 代表は、「アンデス地域の1万の農業生産者が今回の豪雨災害の影響を受けた」「損失は計り知れない」と指摘。

特にメリダ州は野菜の90%を栽培しており、ベネズエラが全国的に野菜不足になる可能性があるとの懸念を示した。

また、豪雨の影響で物流機能がマヒしている点について言及。

「車が使用できないためロバなどで運んでいる」「他の州に収穫物を運ぶことが出来ないため、収穫物が腐る前に地元住民に無償で配る農家も出てきている」とコメントした。

「Chevron Venezuela 元社長 Chevron 役員就任」

「Chevron Venezuela」の社長を務めたことのある Javier La Rosa 氏 (現 Chevron Argentina 社長) が7月1日から Chevron 本社の役員に就任することが発表された。

2025年6月28日～29日（土曜・日曜）

政治

「ガイアナ GOLD 密輸の取り締まりを強化
～マドゥロ政権 密輸の元締めはガイアナ～」

ガイアナの Irfaan Ali 大統領は、「GOLD の密輸が、非民主主義勢力を保護し、拡大させる資金源となっており、我が国の同盟国にとって脅威になっている」と指摘。

ベネズエラから流れてくる GOLD の密輸がマドゥロ政権の資金源になっているとして、GOLD 密輸の取り締まりを強化すると発表した。

この発表を受けて、マドゥロ政権はガイアナ政府を非難。

「違法な GOLD の違法採掘を行っているマフィアの真実のトップはガイアナの Irfaan Ali 大統領である」「Ali 大統領は、ガイアナに帰属しない領域で環境と生態系の破壊を加速させている」

「Ali 大統領は、ガイアナの大統領として振る舞っておらず、真実の主人（米国政府）の命令に従い言葉を発している」と訴えた。

ガイアナは、ベネズエラと領土問題を抱えている。

両国が領土を争っているエセキボ地域の海域には大量の原油が埋蔵されており、同海域は米国企業「Exxon Mobil」を中心に開発が進んでいる。

マドゥロ政権は、領土が定まっていない地域でのガイアナによる一方的な開発を批判しているが、同領海での産油活動および油田開発は続いている。

なお、ガイアナの油田開発は米国にとっても重要で、ベネズエラとガイアナの領土問題に米国政府が介入することが常態化している。

「7月市長選 野党が連名で支持する候補者」

7月27日に全国市長・市議会議員選が予定されている。

今回の選挙にも「新時代党（UNT）」およびカプリレス元ミランダ州知事が関係する「Union y Cambio（Unica）」、穏健野党グループの同盟「民主主義同盟（Alianza Democrática）」が参加する。

各グループは、それぞれ独自の候補者を擁立しているが、一部地域では票の分散を防ぐため、1人の候補者を推薦している地域がある。

別の言い方をすれば、1人の候補に絞られている地域は、与党候補に勝利できる公算のある地域ということが出来る。

現地メディア「EFECTO COCUYO」によると、「UNT」「Unica」「Alianza Democrática」が同時に推薦している候補者は以下の通り。

特筆すべきは、ララ州の州都バルキシメト市の市長選に出馬したヘンリー・ファルコン氏。

チャカオ市のグスタボ・ドゥケ候補（現チャカオ市長）。バルータ市のダーウィン・ゴンサレス候補（現バルータ市長）など。リベルタドル市は「鉛筆同盟（AL）」の Jorge Barragán 候補が推薦されている。



（写真） EFECTO COCUYO

「豪雨続く アプレ州でも河川が氾濫」

6月27日に発生した豪雨については紹介した通りだが、6月29日に新たな豪雨災害が発生した。

6月29日 アプレ州で激しい雨が降り、Sarare川が氾濫。

José Antonio Páez 市の Guasdualito 地区、Remolino 地区、Las Queseras 地区、Guacas de Rivera 地区と連絡が出来ない状態になっているという。

道路の通行できない地域もあるため、交通整備員を配置し、別ルートへの案内などを行っているという。



(写真) アプレ州政府 Instagram

経 済

「中央銀行 両替市場に18.2億ドルを供給」

経済系メディア「Bancaynegocios」は、2025年1～6月までに中央銀行が両替市場に供給した外貨は18億1900万ドルだったと報じた。

2024年同期は20.3億ドルだったようで、前年同期比10.5%減になるという。

2025年6月に中央銀行が両替市場に供給した外貨は3.8億ドル。前年同期の4.3億ドルより5000万ドルほど少なくなっている。

外貨供給が少なければ為替レートはボリバル安に推移する。25年6月29日時点の公定レートは107.63ボリバル/ドルで、先月比11.12%増となっている。

「24年Q3 農業セクターGDP6.26%増」

ベネズエラには肥沃な土地が広がっており、農業分野の潜在性が高い国である。ただし、価格統制、外貨管理制度、農地接収など経済政策の失敗によりベネズエラの農業は低迷した。

しかし、マドゥロ政権は、価格統制の緩和、ドル取引の合法化、資材の輸入促進など統制を軟化させた。

また、バイデン政権が経済制裁を緩和したことで2021年から農業分野は徐々に回復している。

ベネズエラ中銀によると、21年第3四半期から農業セクターはプラス成長が続いている（次ページのグラフ参照）。

中央銀行が公表している直近の資料によると、2024年第3四半期の農業セクターのGDP成長率は、前年同期比6.26%増だったという。

Pérez 代表は、コーヒーの販売価格を国際水準に合わせる必要があると指摘している。

「加コスメブランド MAC ベネズエラ3店舗目」

カナダのコスメブランド「MAC (Make-up Art Cosmetics)」がカラカスのショッピングセンター「Parque Cerro Verde」に新店舗をオープンした。

MACは、2024年にカラカスのショッピングセンター「Sambil La Candelaria」に店舗をオープンし、その後ヌエバエスパルタ州マルガリータ島に店舗をオープンしており、今回でベネズエラ3店舗目になる。

「MAC Venezuela」の Patricia Iglesias 社長は「ベネズエラでの事業の底を固める」としており、当面は新店舗を増やさず、現在の店舗数を維持する姿勢を示した。

「保健省 Colgate 歯磨きペースト使用禁止に」

6月28日 ベネズエラ保健省傘下の「衛生監督サービス局」は、米国の消費財メーカー「Colgate」の歯磨きペースト「Colgate Total (クリアミント)」について、「使用できない商品」に分類すると発表。ベネズエラ国内での販売を禁止するとした。

これはブラジルの衛生当局「Anvisa」の決定に従うもの。

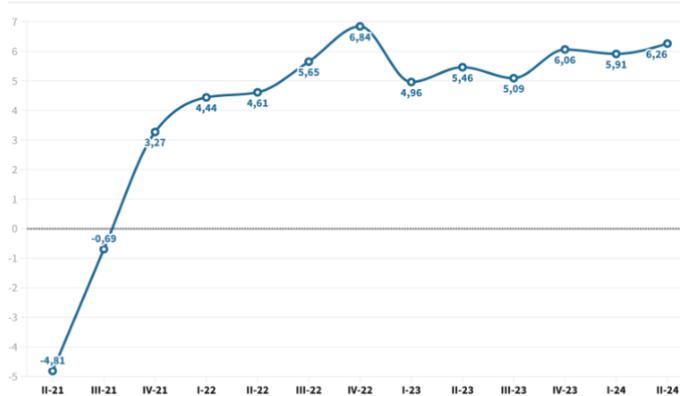
Anvisaは「Colgate Total (クリアミント)」の調査を行い、「人体に悪影響を与える」との結果を公表。ブラジルでは同製品の使用が禁止されている。

ブラジルの対応を受けて、ベネズエラも同様の措置を執るとした。

以上

PIB agrícola de Venezuela

Cifras del BCV muestran que la actividad agrícola comenzó a crecer en el último tramo de 2021



Fuente: BCV • Cifras en porcentaje
Variación con respecto al mismo lapso del año previo

(写真) ベネズエラ中央銀行

「コーヒー 政府による規制で農家の収入少ない」

「ベネズエラ農業連合会 (Fedeaagro)」の Vicente Pérez 代表は、ベネズエラのコーヒー産業の状況について説明した。

Pérez 代表によると、コーヒーの国際価格は24年11月から世界的に高騰しており、一時は1バッグ400ドルになったが、現在は300ドルほどになっている。一時期よりも価格が下がったが、300ドルでも十分に高値の水準だという。

コーヒー価格が上がっていることで、コロンビアのコーヒー農家は1キントル当たり300ドル弱を受け取っている。

一方、ベネズエラの場合、政府の統制によりコーヒー農家は1キントル当たり180ドルくらいしか受け取っておらず、この状況が2年程続いているという。